

事業所番号

健康保険
厚生年金保険
(兼)厚生年金保険
事業主が健康保険組合へ提出した日

被保険者報酬月額変更届

70歳以上被用者月額変更届

記入例

令和 元年 7月 5日 提出

提出者記入欄	事業所整理記号	健康保険組合への届出については、記入不要です。
	事業所所在地	〒 000-0000
	事業所名称	〇〇県〇〇市〇〇-〇-〇
	事業主氏名	(株)フレッシュダスキン 代表取締役 島 大作
	電話番号	000 (0000 0000

常務理事	事務長			担当者

社会保険労務士記載欄
氏名等

項目名	① 被保険者整理番号		② 被保険者氏名		③ 生年月日		④ 改定年月		⑪ 個人番号(基礎年金番号) ※70歳以上被用者の場合のみ	
	⑤ 従前の標準報酬月額		⑥ 従前の改定月		⑦ 昇(降)給		⑧ 遡及支払額		⑫ 備考	
	⑨ 給与支給額		⑩ 給与計算の基礎日数		⑬ 合計(⑪+⑫)		⑭ 総計			
	⑪ 通貨によるものの額		⑫ 現物によるものの額		⑮ 平均額		⑯ 修正平均額			

1	①	000-0000	②	健保 太郎	③	5-311115	④	2年 1月	⑪		
	⑤	健 1,330 千円	厚 620 千円	⑥	1年 9月	⑦	昇給 10月 降給	⑧	遡及支払額	⑫ 1. 70歳以上の被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由(基本給の変更) 5. 健康保険のみ月額変更(70歳到達時の契約変更等) 6. その他()	
	⑨	10月	⑩	30日	⑪	通貨	⑬	1,430,000円	⑭		4,290,000円
	11月	31日		0円	1,430,000円	0円	1,430,000円	1,430,000円			
12月	30日		0円	1,430,000円	0円	1,430,000円					

2	①	000-0000	②	保田 健一	③	5-450928	④	2年 1月	⑪		
	⑤	健 200 千円	厚 200 千円	⑥	1年 9月	⑦	昇給 10月 降給	⑧	遡及支払額	⑫ 1. 70歳以上の被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由(基本給の変更) 5. 健康保険のみ月額変更(70歳到達時の契約変更等) 6. その他()	
	⑨	10月	⑩	30日	⑪	通貨	⑬	252,000円	⑭		720,000円
	11月	31日		0円	234,000円	0円	234,000円	240,000円			
12月	30日		0円	234,000円	0円	234,000円					

3	①	000-0000	②	康岡 保	③	5-600823	④	2年 1月	⑪		
	⑤	健 190 千円	厚 190 千円	⑥	1年 9月	⑦	昇給 10月 降給	⑧	遡及支払額	⑫ 1. 70歳以上の被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由(基本給の変更) 5. 健康保険のみ月額変更(70歳到達時の契約変更等) 6. その他()	
	⑨	10月	⑩	30日	⑪	通貨	⑬	214,000円	⑭		651,000円
	11月	31日		0円	222,000円	0円	222,000円	217,000円			
12月	30日		0円	215,000円	0円	215,000円					

4	①	000-0000	②	岡保 花子	③		④	年 月	⑪		
	⑤	健 千円	厚 千円	⑥	年 月	⑦	昇給 降給	⑧	遡及支払額	⑫ 1. 70歳以上の被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由(基本給の変更) 5. 健康保険のみ月額変更(70歳到達時の契約変更等) 6. その他()	
	⑨	月	⑩	日	⑪	通貨	⑬	円	⑭		円
	月	日		円	円	円	円				
月	日		円	円	円	円					

5	①		②		③		④	年 月	⑪		
	⑤	健 千円	厚 千円	⑥	年 月	⑦	昇給 降給	⑧	遡及支払額	⑫ 1. 70歳以上の被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由(基本給の変更) 5. 健康保険のみ月額変更(70歳到達時の契約変更等) 6. その他()	
	⑨	月	⑩	日	⑪	通貨	⑬	円	⑭		円
	月	日		円	円	円	円				
月	日		円	円	円	円					

※ご記入いただいた内容を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容と訂正した方の氏名(サイン)をご記入ください。

記入方法

提出者記入欄 : 事業所整理記号は下図を参照し、新規適用時または名称・所在地変更時に付された記号を記入してください。
※ご記入いただいた内容を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、正しい内容と訂正した方の氏名(サイン)をご記入ください。

事業所 整理記号			0	1	—	イ	ロ	ハ	
-------------	--	--	---	---	---	---	---	---	--

- ①被保険者整理番号 : 資格取得時に払い出された、記号と番号を記入してください。
- ③生年月日 : 該当する元号の番号と、年月日を下図のように記入してください。
【元号】 3. 大正 5. 昭和 7. 平成 9. 令和
【記入例】 昭和63年5月3日の場合

③	5-630503
---	----------
- ④改定年月 : 標準報酬月額が改定される年月を記入してください。「⑨給与支給月」で記入した3ヵ月目の翌月となります。
- ⑤従前の標準報酬月額 : 現在の標準報酬月額を千円単位で記入してください。
- ⑥従前改定月 : 「⑤従前の標準報酬月額」が適用された年月を記入してください。
- ⑦昇(降)給 : 昇給または降給のあった月の支払月を記入し、該当する昇給または降給の区分を○で囲んでください。
- ⑧遡及支払額 : 遡及分の支払があった月と支払われた遡及差額分を記入してください。
- ⑨給与支給月 : 固定的賃金の変動が反映した月から3ヵ月分の月について記入してください。
- ⑩給与計算の基礎日数 : 月給・週給者は暦日数、日給・時給者は出勤日数等、報酬(給与)支払の基礎となった日数を記入してください。
月給・週給者で欠勤日数分の給与を差し引く場合は、就業規則等で定められた日数から欠勤日数を除いて記入してください。
※基礎日数は給与支払日ではありませんので、ご注意ください。
- ⑪通貨によるものの額 : 給料・手当等、名称を問わず労働の対償として金銭(通貨)で支払われるすべての合計金額を記入してください。
※昇給がさかのぼったためその差額が支給された場合は、その差額も含めて記入し「⑧遡及支払額」に支給月と差額を記入してください。
- ⑫現物によるものの額 : 報酬のうち食事・住宅・被服・定期券等、金銭(通貨)以外で支払われるものについて記入してください。
現物によるものの額は、厚生労働大臣によって定められた額(食事・住宅については都道府県ごとに定められた価額、その他被服等は時価により算定した額)を記入してください。
- ⑬合計 : 「⑪通貨」と「⑫現物」の合計額を記入してください。
- ⑭総計 : 3ヵ月間の「⑬合計」を総計してください。
- ⑮平均額 : 「⑭総計」の金額を3で除して平均額を算出し、1円未満を切り捨ててください。
- ⑯修正平均額 : 昇給がさかのぼったため対象月中に差額分が含まれている場合は、差額分を除いた平均額を記入してください。
- ⑰個人番号
(基礎年金番号) : 70歳以上被用者の方のみ記入が必要になります。本人確認を行ったうえで、個人番号を記入してください。
基礎年金番号を記入する場合は、年金手帳等に記載されている10桁の番号を左詰めで記入してください。
ただし、健康保険組合への届出については、記入不要です。
- ⑱備考 : 必要に応じて記入してください。